

編集後記

本誌読者諸兄はすでにお気づきだろうが、今回のNo-Dig TodayはNo.99となった。いよいよ次号はNo.100で、日本非開削技術協会(JSTT)機関誌として次のステージに進むことになる。ここまでのご愛読者のもとより、本誌の企画編集、執筆出稿並びに広告掲載にご協力くださった皆様に厚く感謝申し上げます。また、100号記念特集では、趣向に富んだ構成を立案中ですので、ご期待ください。

そこで、今回では非開削技術の原点に立ち戻り、その真髄と都市機能の保持、発展における使命について考えてみたい。

今日の都市機能は、下水道をはじめ上水道、電力、ガス、通信など、そのほとんどが道路下に埋設、築造されたパイプラインで支えられている。利便性の高い都市内交通としての地下鉄や自動車専用道路なども同じく道路下に築造されている。仮に、将来にわたり都市機能の拡充、高度化を求める社会気運が高まれば、道路下空間のさらなる活用、輻輳化は避けられまい。

都市市街地面積に占める道路面積の割合は、正確なデータで確認できないが、恐らく15~20%程度であろう。過密化した大都市であればある

ほど、その比率は高くなると推定される。だが、道路上空間は、都市生態の貴重な領域として、安全確保と環境保全、快適性創出に特化した利用になるはずだ。であれば、道路下の地下空間こそ必然的に都市機能を担保する生命線となる。

昨年の11月8日早朝、福岡JR博多駅から延びる幹線道路の縦横30mに及ぶ広範囲で、大規模な道路陥没事故が発生したことは記憶に新しい。その直接主因は、地下鉄延伸に伴うトンネル工事での掘削天端地盤の崩落ということだが、それより衆人の目を引いたのは、露わにされた道路地下断面の有様だろう。そこには、路面から数m以下の範囲に、下水道をはじめあらゆる地下パイプラインが整然と並んでいた。これらが瞬時に寸断され、周辺街区ではすべての都市機能が消滅した。このことで、都市住民は、自らの快適な生活を支える基盤のすべてが、道路下空間に埋蔵されていることを自覚できたはずだ。道路下に整備された都市機能基盤が無くして、都市は一日たりとも、いや一時間たりとも活動できないことが立証されたと言える。痛ましい事故であったが、都市住民にとって掛け替えのない貴重な教訓となっただけだ。

では、都市が未来永劫健全な状況を保持するには、それを支える道路下基盤を如何に健全な状態で保持できるか、これが必須命題となる。基盤のほとんどがパイプラインで構成されており、すべてが所詮物理構造物だ。都市の寿命は仮に未来永劫であろうとも、それを支える物理構造物は経時的劣化は避けえない。ならば、それらの致命的損壊を回避するには、都市は、常時それらを監視、点検し、必要なメンテ、補修の手を入れ、さらには適切な時期を見計らい抜本的な改築、敷設替えを行い、既存のパイプラインを次なるライフサイクルへ移行させなければならない。都市の寿命に添うためには、このライフサイクルを積み重ねることが必然の途となる。

その際、道路上空間は、あくまで都市活動の舞台であり、易々とそれに支障を及ぼす行為は禁物だ。だからこそ、ここに道路を掘り返すことなく、道路下に目と手を入れる技術、非開削技術の必然的優位性が出てくる。このNo-Dig Todayの使命は、それらに関する最新かつ有益な情報を提供することだ。この使命は、今後とも揺るがない。

Why dig trenches, when there are better solutions?

〈編集委員長 石川和秀〉

No-Dig Today

No.99 2017 Apr. 平成29年4月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会

発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F

TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

発行人：安中徳二

印刷所：株式会社 LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

○購読料(税込み)

1冊 1,620円(本体1,500円)〒400円

1ヵ年(4冊)6,480円(本体6,000円)〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会にて選考の上掲載論文には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2017 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。